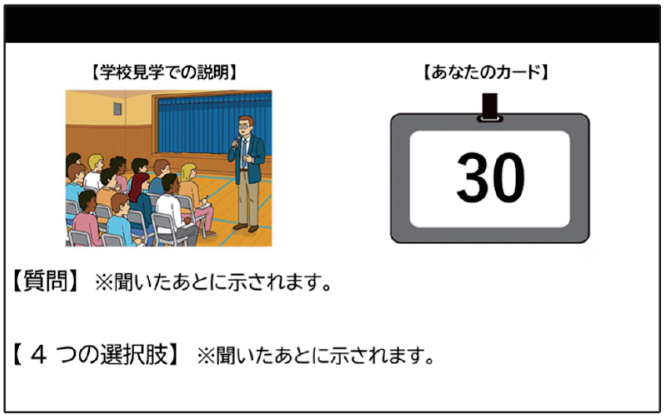
英語 3　自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る

【画面１】

＜問題文＞

あなたは、留学先で学校見学に参加し、体育館で先生の説明を聞くところです。【あなたのカード】の番号は「 30 」です。先生の説明を聞いたあと、【質問】が流れます。そのあと【４つの選択肢】が示されます。質問の答えとして最も適切なものを、＜解答欄＞の１から４までの中から１つ選びなさい。必要に応じてメモを取ってもかまいません。



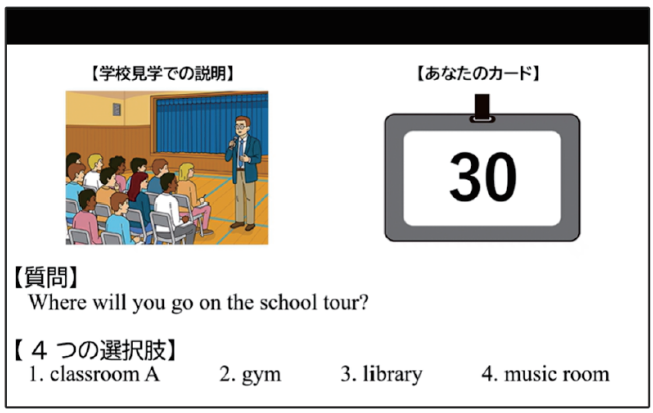
＜解答欄＞

○ 1　○ 2　○ 3　○ 4

【画面２】

＜問題文＞

あなたは、留学先で学校見学に参加し、体育館で先生の説明を聞くところです。【あなたのカード】の番号は「 30 」です。先生の説明を聞いたあと、【質問】が流れます。そのあと【４つの選択肢】が示されます。質問の答えとして最も適切なものを、＜解答欄＞の１から４までの中から１つ選びなさい。必要に応じてメモを取ってもかまいません。



＜解答欄＞

○ 1　○ 2　○ 3　○ 4

英語の音声スクリプト【画面１】

Thank you for joining our school tour. Please look at the number on your card. I will tell you the place to go and the thing to do. Number 1 to number 10, please stay in the gym. You will watch a movie about school life. Number 11 to number 20, please go to classroom A. You will experience a math class. Number 21 to number 30, please go to the music room. You will listen to the school song. Number 31 to number 40, please go to the library. You will talk with our students. Enjoy your tour!

英語の音声スクリプト【画面２】

Question: Where will you go on the school tour?

英語の音声スクリプトの解説

“Please look at the number on your card.” は、学校見学に参加する生徒がカードの番号を確認することを示している。“I will tell you the place to go and the thing to do.” は学校見学において、「行くべき場所」と「体験すること」について、これから説明することを示している。その後、“Number ○ to number ○” はカードの番号によるグループ分けの範囲を、“please …” は「行くべき場所」を、“You will …” は「体験すること」を示している。 “Enjoy your tour!” は学校見学の説明が終了したことを示している。

出題の趣旨

日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる。

「必要な情報を聞き取る」とは、複数の情報が含まれるまとまりのある内容を聞き、話されることの全てではなく、聞き手として目的に応じて知りたいことや欲しい情報などを聞き取ることである。そのためには、話されることの全てを聞き取ろうとするのではなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて必要な情報を聞き取ったり、自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報であるのかを判断した上で聞き取ったりすることが求められる。

英語３では、日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取ることができるかどうかを把握するために、学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する問題とした。

なお、令和５年度の調査問題と同様に、英語２と英語３は、出題の趣旨において「必要な情報を聞き取る」という点では共通しているが、両者には次の相違点がある。

英語２では、英語の音声を聞く前から何を聞き取ったらよいかが示され、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることが求められる。それに対し、英語３では、英語の音声を聞く前は何を聞き取ったらよいのかは示されておらず、学校見学の説明の “I will tell you the place to go and the thing to do.” を聞いて、初めて何を聞き取ったらよいのかを把握し、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることが求められる。英語３における「自分の置かれた状況など」とは、「学校見学の説明を聞く場面で、自分のカードの番号は『30』であること」を指す。目的に応じて、必要な情報を聞き取ることだけでなく、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることも大切であることから、令和５年度に続き、両者を出題した。

令和８年度は CBT（Computer Based Testing）による出題によって可能となる出題形式を活用し、アニメーションを使用して、音声を聞いた後に質問と選択肢が示されるようにした。

■学習指導要領における目標

聞くこと

ア　はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

聞くこと

(ｲ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率(%)	正答
3		1	**1** と解答しているもの	5.0	
		2	**2** と解答しているもの	5.0	
		3	**3** と解答しているもの	13.5	
		4	**4** と解答しているもの	76.3	◎
		0	無解答	0.1	

（N= 283,126 人）

２．分析結果と課題

○　正答率は 76.3%である。学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する本問では、日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができている。解答類型１の反応率 5.0%、解答類型２の反応率 5.0%と比較すると、誤答の中では解答類型３の反応率が 13.5%と高い。

○　解答類型３に該当する生徒は､｢学校見学の説明を聞く場面で､自分のカードの番号は『30』である」という自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることに課題があると考えられる。“No. 31（thirty-one）”と “No. 30（thirty）”を誤って捉えている可能性も考えられる。

○　令和５年【中学校】英語3では、日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみるために、バーベキューパーティーについての説明を聞き、最も適切な番号を選択する問題を出題し、正答率は 41.9%であった。

３．学習指導に当たって

（１）自分の置かれた状況を理解させた上で、英語の音声を聞かせる

自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取るためには、自分の置かれた状況を理解し、英語の音声を聞く中で、聞く目的を把握していくことが求められる。そのため、まずは自分の置かれた状況を理解させることが重要である。

例えば、英語3において、「学校見学の説明を聞く場面で、自分のカードの番号は『30』であること」が自分の置かれた状況となる。この自分の置かれた状況を理解しておくことで、“Please look at the number on your card. I will tell you the place to go and the thing to do.” を聞いて、学校見学で取るべき行動を明確にするという目的のために、カードの番号が30番である自分が行くべき場所とそこで行うことを聞き取る必要があることを把握させることが大切である。授業では、ALTの話を聞かせたり、教師とやり取りしたりすることを通して、自分の置かれた状況を理解させることが考えられる。

（２）英語の音声を聞き、どのような情報を聞き取らなくてはならないかを把握させる

言語活動を行うに当たっては、自分の置かれた状況を理解した上で、英語の音声を聞いて、どのようなことが話されているか、どのような情報を聞き取らなくてはならないかを把握させ

ることが必要である。教師が質問をして確認したり、生徒同士で確認したりすることも考えられるが、学習が進む中で、英語の音声を聞きながら生徒自身が何を聞き取らなくてはならないのかを把握できるようにすることが大切である。

例えば、英語3において、自分の置かれた状況を理解し、“Please look at the number on your card. I will tell you the place to go and the thing to do.” を聞くことで、カードの番号、行くべき場所、体験することを聞き取らなくてはならないことを把握し、“Number 21 to number 30, please go to the music room. You will listen to the school song.” を必要な情報として聞き取る必要がある。

英語2では、音声を聞く前に目的を把握しているため、自分にとって必要な情報に関連する語句や表現を予測することができる。しかし、英語3の場合は、音声を聞く前に、聞く目的を把握することができないため、語句や表現を予測することができず、音声を聞きながら聞き取らなくてはならない情報を把握する必要がある。授業においては、一度、英語の音声を聞かせた後に、聞く目的とどういった情報を聞き取らなくてはならないかを確認させ、関連する語句や表現に着目して、再度、英語の音声を聞かせ、自分の置かれた状況などから、自分にとって必要な情報とそうでない情報を判断し、必要な情報を聞き取ることができるように指導することが考えられる。

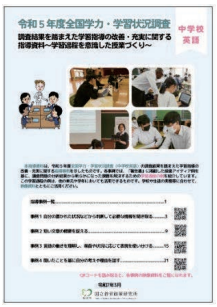
（３）言語活動の例

- 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞き、自分の置かれた状況などから判断して、適切に応じる活動
- 学校行事における係分担の説明や持ち物等の連絡などを聞き、自分の置かれた状況などから判断して、自分が必要とする情報を聞き取る活動

なお、英語3は「聞き取ること」と「読み取ること」の違いはあるが、英語8と同じように「自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を捉えること」ができるかどうかをみる問題である。そのため、「自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること」ができるようにする指導も併せて行うことが考えられる。

○関連する指導資料　　※画像をクリックするとリンク先にアクセスできます。

- 中学校英語指導事例集（令和７年３月）
  「自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取る」

映像資料

指導資料